

岩手山 平成 18 年（2006 年）年報

火山活動評価：静穏な状況

地震活動、噴煙活動、熱活動は低調な状態で火山活動は静穏に経過しました。

火山情報

火山情報の発表はありませんでした。

概況

・地震活動（表 1、図 2～図 3、図 5～図 6）

火山性地震は少ない状態が続いています。

火山性微動は観測されませんでした。

・噴煙活動・熱活動（図 4、図 7～図 9）

遠望観測（監視カメラ：黒倉山山頂の北約 8km）では、黒倉山山頂の噴気の高さは 80m 以下で低調な状態が続いています（図 4）。

10 月 13 日、14 日に実施した現地観測では、前回（2005 年 6 月 15 日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に変化はなく落ち着いた状態でした。

12 月 11 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により上空からの観測を行ないました。その結果、岩手山山頂、大地獄谷、黒倉山、網張元湯などの噴気や地熱地帯の状況に特段の変化はなく、静穏な状態であることを確認しました。

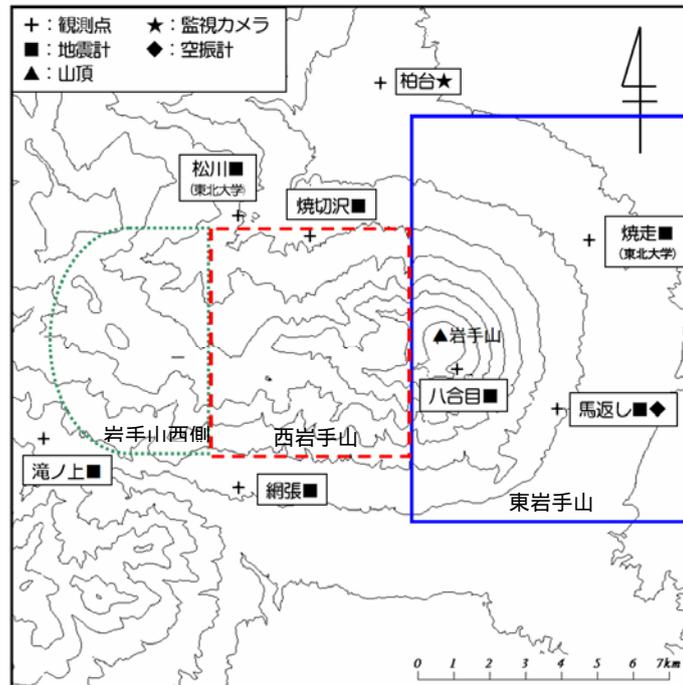


図 1 岩手山 観測点配置図

資料は気象庁のデータの他、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

表1 岩手山 2006年火山性地震・微動の月別回数(基準点:図1の焼切沢)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 地震回数 | 24 | 15 | 11 | 10 | 14 | 16 | 12 | 13 | 11 | 11 | 7 | 8 |
| 微動回数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

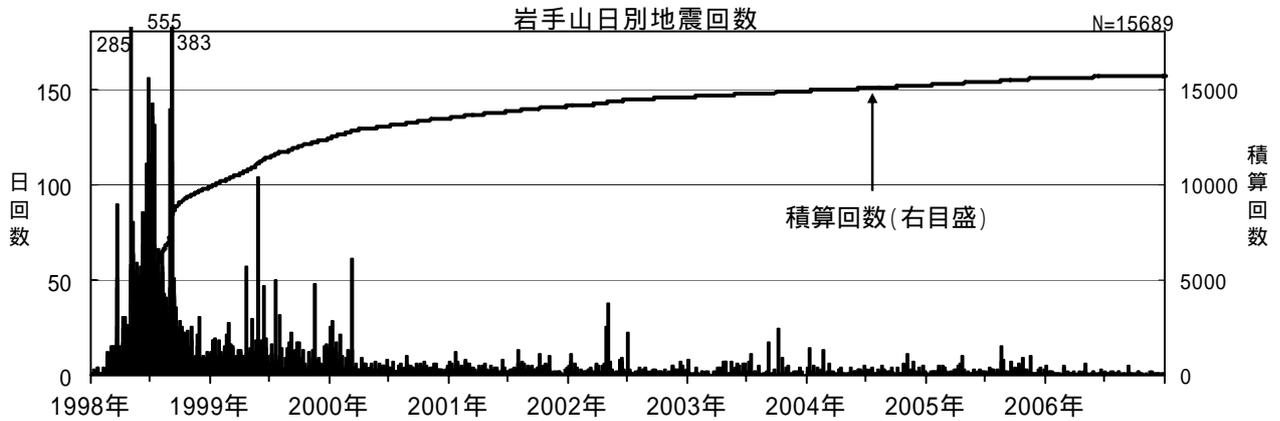


図2 岩手山 日別地震回数(1998年1月~2006年12月)

注) 2006年1月1日より地震回数の基準点を、東北大学松川観測点(計数基準:S-P時間2秒以内)から気象台焼切沢観測点(計数基準:振幅0.5 μ m/s以上でS-P時間2秒以内)に変更しました。
2000年1月以降は、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。
(1998年から1999年までは、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含んでいます。)

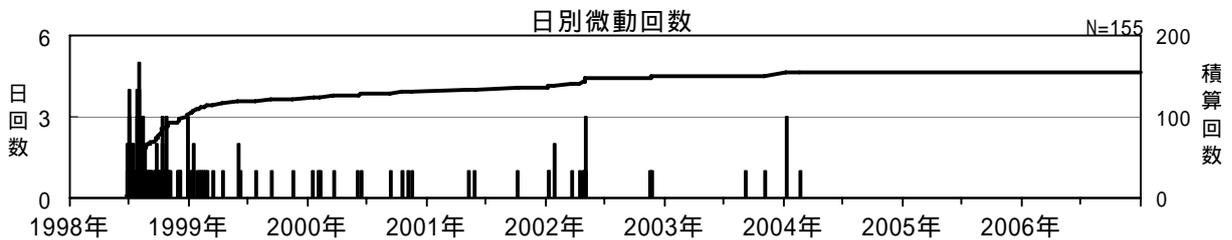


図3 岩手山 日別微動回数(1998年1月~2006年12月)

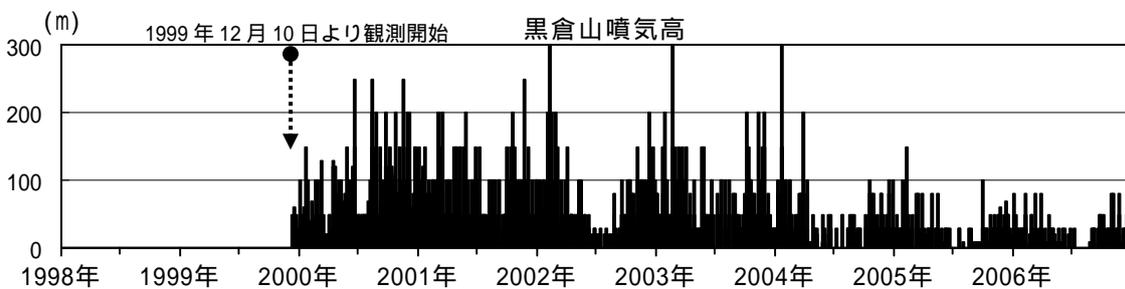


図4 岩手山 日最大噴気の高さ(黒倉山)(1999年12月10日~2006年12月)

気象台の柏台監視カメラは、1999年12月10日より観測を開始しました。

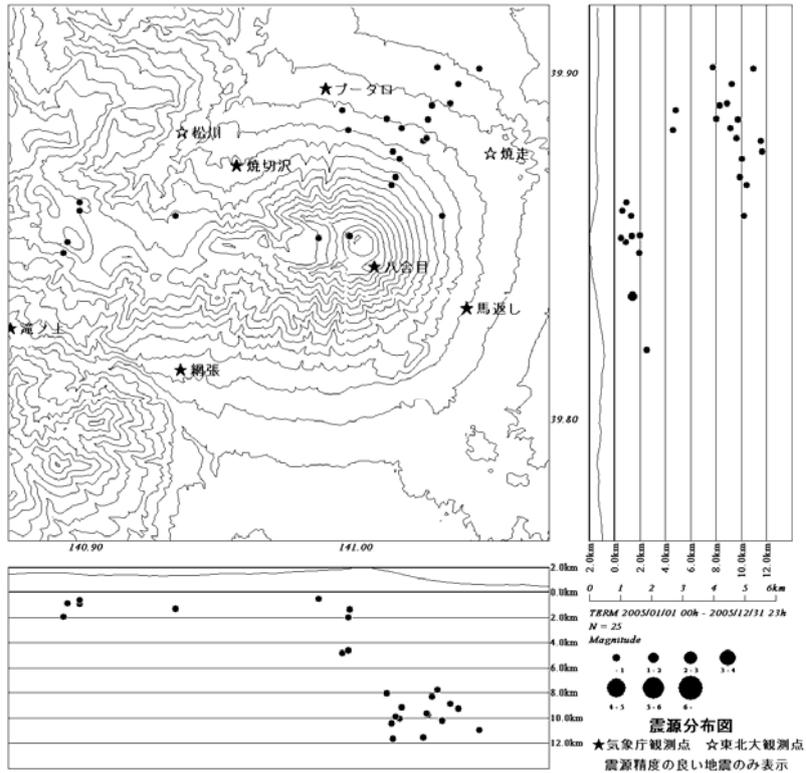


図5 岩手山 震源分布図（2005年）

震源精度の良い地震のみ表示しています。

ブータロ地震計は焼切沢へ移設し 2005 年 11 月 17 日より観測を開始しました。

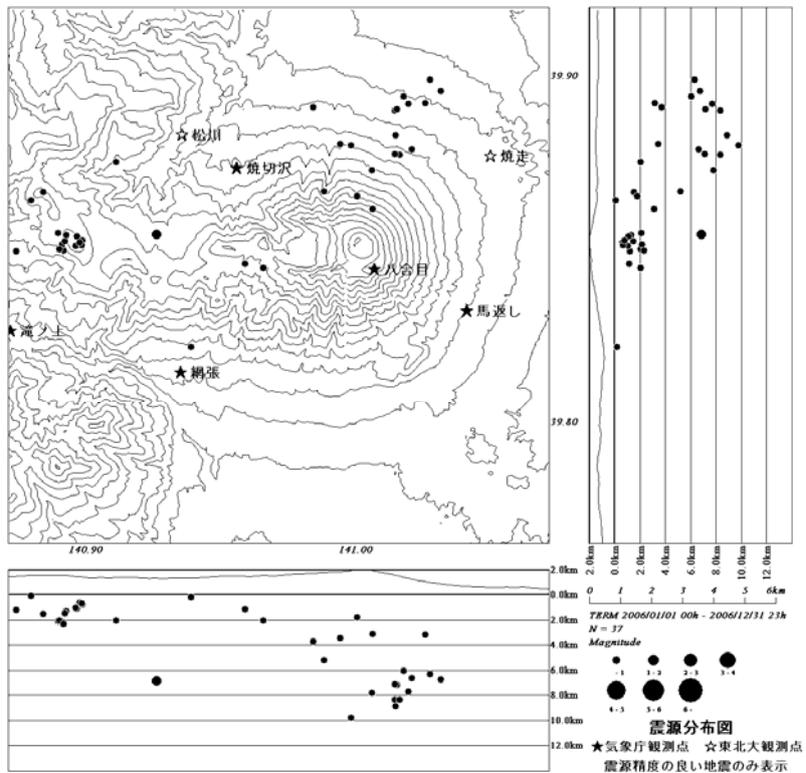


図6 岩手山 震源分布図（2006年）

震源精度の良い地震のみ表示しています。

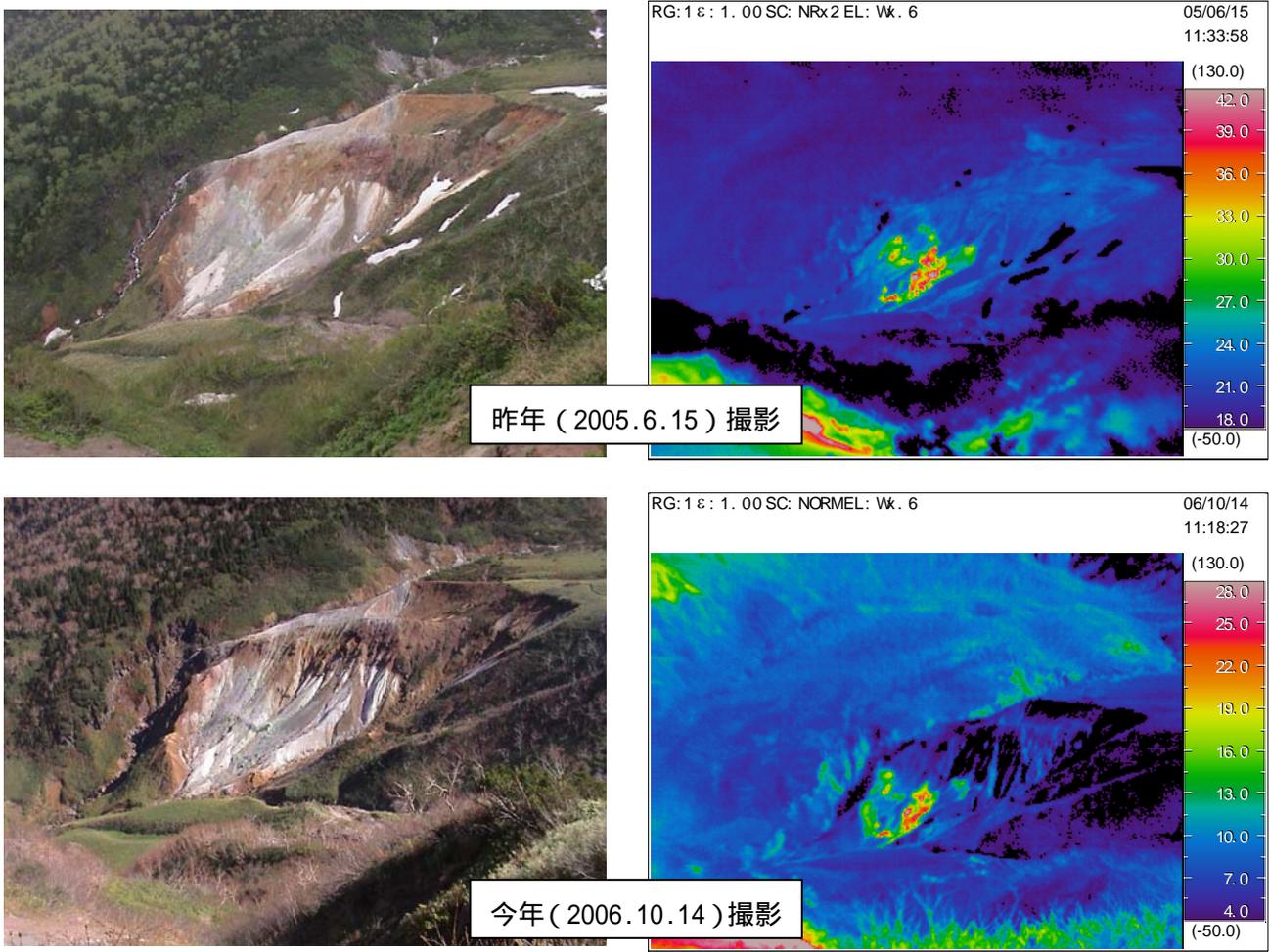


図7 大地獄谷の可視画像（左）と赤外熱映像画像（右）

10月13、14日に西岩手山（大地獄谷、黒倉山から姥倉山）の現地観測を実施しました。その結果、前回（2005年6月15日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に変化はなく、落ち着いた状態にあることを確認しました。

赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する機器で、熱源から離れた場所で測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

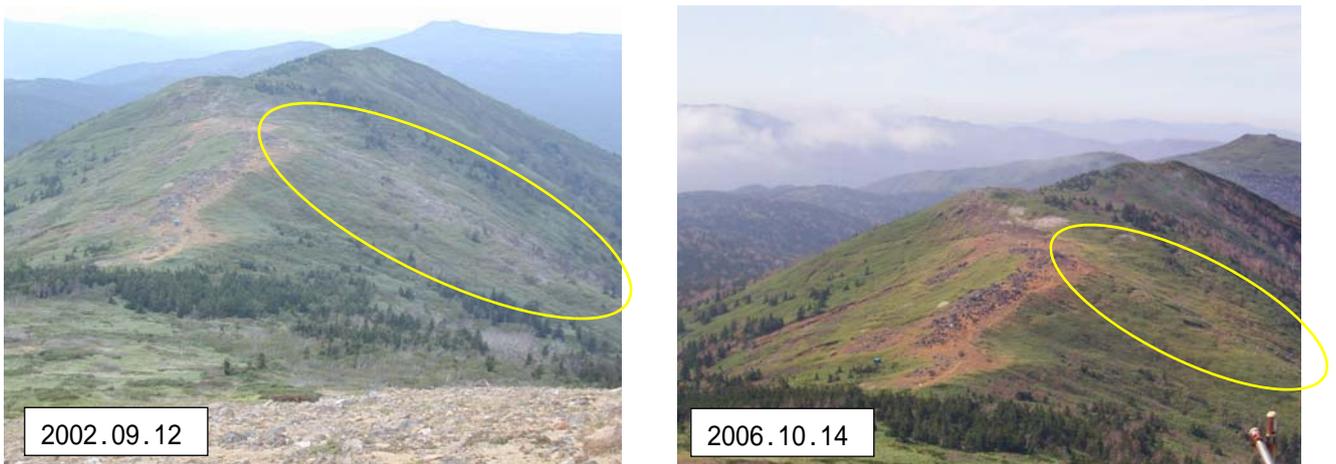
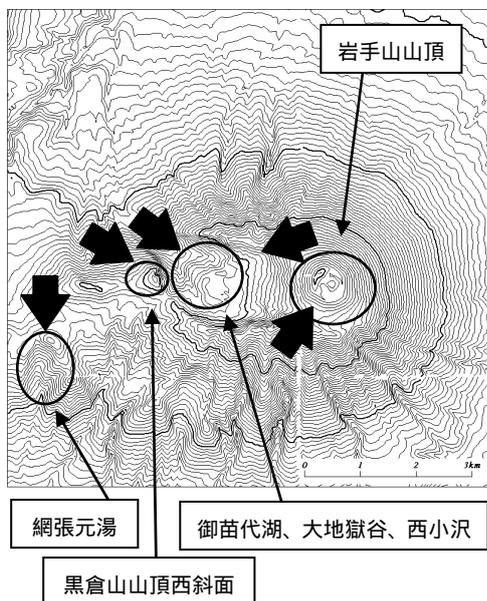
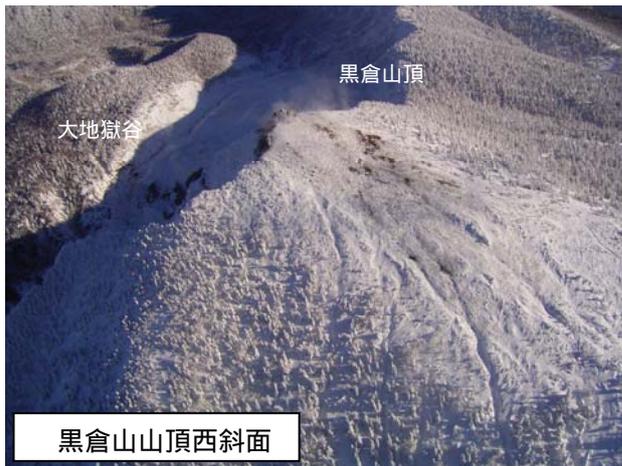


図8 黒倉山から姥倉山にかけての北斜面（2002年9月と2006年10月の比較）

黒倉山から姥倉山にかけての北斜面では、1999年頃から噴気活動が次第に活発になり、笹など枯死の状態となりました。しかし、噴気活動は2002年頃から低下し、2005年頃からは笹など植生が回復してきています（丸の範囲）。



撮影方向
 : 岩手山山頂 : 御苗代湖、西小沢、黒倉山
 : 大地獄谷 : 黒倉山山頂西斜面 : 網張元湯

図9 岩手山の機上観測結果

陸上自衛隊東北方面總監部の協力により2006年12月11日に実施しました。

その結果、岩手山山頂、大地獄谷、黒倉山、網張元湯などの噴気や地熱地帯の状況に特段の変化はなく、静穏な状態であることを確認しました。